

製品名: シクロフィリン F ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab09612

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	PPIF
別名	PPIF; CYP3; Peptidyl-prolyl cis-trans isomerase F; mitochondrial; PPIase F; Cyclophilin F; Rotamase F
遺伝子 ID	10105.0
SwissProt ID	P30405
免疫原	抗血清はヒト PPIF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 86-135

背景

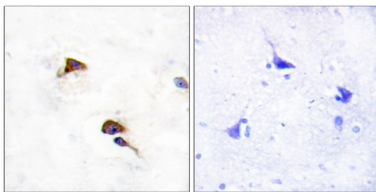
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ペプチジルプロリンシストランスイソメラーゼ (PPIase) ファミリーのメンバーで

す。PPIase は、オリゴペプチド中のプロリンイミドペプチド結合のシス-トランス異性化を触媒し、タンパク質のフォールディングを促進します。このタンパク質は、ミトコンドリア内膜のミトコンドリア膜透過性遷移孔の一部です。この孔の活性化は、アポトーシスおよびネクローシスによる細胞死の誘導に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: ペプチジルプロリン (オメガ=180) =ペプチジルプロリン (オメガ=0) 。,機能: PPIase はタンパク質のフォールディングを促進します。 ,機能: PPIase はタンパク質のフォールディングを促進します。オリゴペプチド中のプロリンイミドペプチド結合のシス-トランス異性化を触媒します。 ,類似性:シクロフィリン型 PPIase ファミリーに属します。 ,類似性:1つの PPIase シクロフィリン型ドメインを含みません。 ,

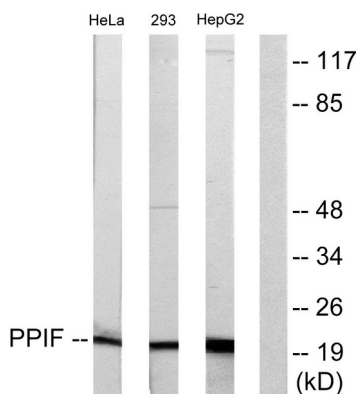
研究分野

免疫学

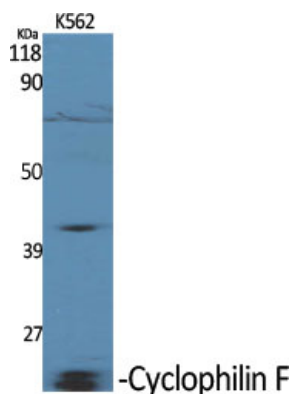
画像データ



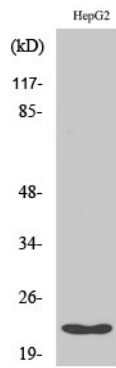
PPIF 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PPIF 抗体を用いた HepG2、HeLa、293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈のシクロフィリン F ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 2000 希釈のシクロフィリン F ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタン
ブロット解析